

1. 件名：福島第一原子力発電所2号機X-6ペネトレーション内堆積物調査及び常設監視計器の取り外しに係る面談
2. 日時：令和2年10月7日（水）13時05分～14時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、知見主任安全審査官、高松専門職、横山係長、伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当2名、
福島第一原子力発電所 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所2号機X-6ペネトレーション（以下「ペネ」という。）内堆積物調査及び常設監視計器の取り外しについて、資料に基づき主に以下の説明があった。
- X-6ペネ内堆積物調査について
 - ✓ 調査に用いる機器は、既認可と同様なバウンダリ構造を使用する計画。具体的には、各摺動部は2重リングでシールし、リング間を窒素加圧してバウンダリを確保する構造である。
 - 常設監視計器の取り外しについて
 - ✓ 原子炉格納容器（PCV）内温度の監視対象となっている温度計は、既設温度計が7箇所及び常設監視計器（震災後に新設した温度計）が2箇所あるが、いずれも概ね同様の指示傾向にあること、また7箇所の既設温度計でPCV内の全体的な温度上昇傾向が把握できることから、常設監視計器を取り外した場合でも、PCV内温度を監視可能である。
 - ✓ 常設監視計器は1年以上取り外した状態となる予定であるが、その期間中に複数の既設温度計が故障した場合は、PCV内温度の監視に支障が出ないように、常設監視計器の復旧等の措置を検討する。

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。

6. その他

資料：

- 2号機X-6ペネ内堆積物調査及び常設監視計器取外しの実施について